

JR 野田駅
の だ

2014
10 月号
吉野地域版

吉野

市場の玄関口があるまち



特集 1

こどもや高齢者を守る

マナーアップキャンペーン

特集 2

蛍が乱舞する小学校

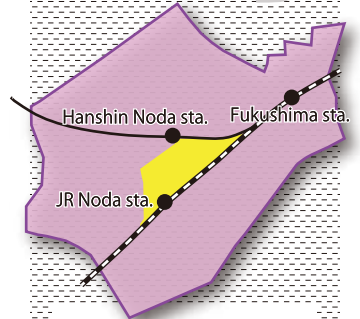
「蛍の鑑賞会」





吉野

まちづくり協議会



発行：吉野まちづくり協議会

【窓口】
福島区まちづくりセンター
電話 06-6462-1117
〒553-8501
福島区大開 1-8-1
福島区役所5階



<http://fmcen.jimdo.com/>

01

子どもや高齢者を守る

マナーアップキャンペーン

吉野まちづくり協議会と吉野連合町会では、「地域の安心・安全は自分たちで守る！」という意識を共有し、地域全体が団結して活動していきます。

その活動の中から、今回は煙草マナーや振り込め詐欺を防止するキャンペーンについてご紹介します。

煙草マナーアップキャンペーン

3年前前、唾えタバコにより小学生がやけどを負ったことがきっかけとなり、大阪市西北環境事業センターと協力して、年2回、路上喫煙防止とタバコのポイ捨て防止を呼び掛けています。

最近では喫煙可能な場所が少なくなり、喫煙者が路上へ追い出されて喫煙し、吸い殻をポイ捨てする例が見られます。引き続き、喫煙者のマナーアップに取り組みたいと考えています。

02

蛍が乱舞する小学校
「蛍の鑑賞会」

都会の中では蛍が育つ環境が少なく、子どもたちは写真や映像でしか蛍を知ることができません。そこで吉野地域では、毎年「蛍の鑑賞会」を吉野小学校で開催し、子どもたちや地域の方に、蛍の光を楽しんでいただく機会を設けています。



子どもたちは自然の不思議さや偉大さを感じ、大人も昔の懐かしい記憶を呼び覚ましていきます。



振り込め詐欺防止キャンペーン

最近、高齢者を標的にした振り込め詐欺が急増していることを受け、福島警察署と協力して、年末の年金支給日に福島区内の各銀行の前に立ち、振り込め詐欺に注意するよう訴えました。



吉野小学校は、平成22年に創立百周年を迎え記念式典を行いました。百周年記念事業の一環として吉野小学校のグラウンドの一角に「ピオトープ」を新規造成して平家蛍の幼虫を放流し、同年7月に最初の蛍の鑑賞会が開催されました。

児童も蛍の幼虫の世話を手伝い、今では前年に放流した蛍から生まれた2世・3世の蛍も一緒に光を放っています。蛍が成長するにはピオトープにきれいな水の流れを作り、エサになるカワニナの育成を行う必要がありますが、児童・PTA・小学校・地域の方が力を合わせて「蛍が乱舞する小学校」をめざし活動しています。



▼大きく育ったカワニナ



▲草が育ったピオトープで蛍の世話をする小学生たち